

江津地域の新設校に係る県議会質問・答弁について
島根県自民党議員連盟坪内議員 2 月定例会一般質問・教育長答弁

令和 7 年 2 月 26 日

県教育委員会では、地域の関係者も参画する新設校開校準備委員会で議論を重ねられ、設置場所、開校時期、学科・定員、学びの特色、施設・設備の構想などを概ね取りまとめられたと伺っております。特に、学校施設の整備については、昨年の夏に、江津高校・江津工業高校両校の卒業生会や後援会が一緒になって要望をさせていただいたところです。

その後、地域の意見も踏まえ、円滑な開校に向けての検討を進めていただき、来年度予算案に、両校合同で部活動を実施するためのマイクロバスの整備費、校舎整備に向けた測量費、両校の男子生徒が共同利用している寄宿舍を女子生徒も利用できるようにするための改修に向けた設計費、といった具体的な項目が盛り込まれたことは大変ありがたく、地元市民の期待も高まっていると感じております。

校舎等の整備には、設計から工事まで相当な期間を要すると推測しますが、広く生徒募集を行う観点からも、早い段階で既存寄宿舍を改修し、女子生徒も利用可能だということを発信していくことが重要と考えます。寄宿舍の改修により、区域外、さらには県外からの生徒の受け入れが可能となり、多様な価値観を持った生徒が互いに刺激し合い成長できる学校環境を作ることにもつながり、さらには、探究活動などを通じて、地域の活性化に資することも期待をされています。

寄宿舍整備については、既存の江津工業高校の寄宿舍「^{そうほうりょう}桑蓬寮」を改修して女子寮の整備を行うとされています。「桑蓬寮」は、旧館部分は昭和 48 年竣工

で建築から 51 年が経過、現在使用中の新館部分は昭和 56 年竣工で、建築から 43 年が経過しています。

また、いままで男子生徒しか利用していなかった施設に女子生徒も利用できるようにすることで発生する課題、そして男子寮と女子寮を一つの建物に併設することで考えられる課題に対する対応も考えなければならないと考えます。

寄宿舎の整備改修について、どのように取り組まれるのか教育長の所見を伺います。

(教育長答弁)

江津地域の新設校の寄宿舎についてお答えします。

江津工業高校の寄宿舎である桑蓬寮、植物の桑に蓬よもぎと書きますが、この桑蓬寮の新館は、令和元年度から江津高校との共同利用を開始するに当たり、舎室の改修をしております。

その後、3年度に浴室、トイレなどの水回りを改修し、生活環境を改善いたしました。

また、同年には、旧館とあわせて、屋上防水や外壁改修などの長寿命化工事を実施しております。

このたび、現在使用していない旧館を女子生徒が利用できるよう整備することとし、舎室を、これまでの4人部屋から2人部屋とし、廊下や浴室、トイレなどの共用スペースの改修も行います。インフルエンザ等の感染時に別室で療養するための静養室や、集中して学習に取り組むための学習室も新たに設置する予定としております。

この旧館の整備にあわせ、男子生徒が使用している新館についても、2人部屋へ改修することとしており、それぞれの定員を、旧館、女子14名、新館、男子20名程度とする予定であります。

従来から、男子生徒と女子生徒が一つの寄宿舍を利用する場合には、男女別の玄関を設置するとともに、廊下に間仕切りを設置することなどにより動線を分離しており、新設校の寄宿舍においても、同様に対応してまいります。

これらの整備スケジュールについては、来年度予算案に実施設計の経費を盛り込んでおり、続いて8年度に改修工事を行い、新設校開校の1年前となる9年度の供用開始を目指します。

議員ご指摘の通り、新設校の生徒募集において、女子生徒の利用が可能な寄宿舍が既にあることを広く周知していきたいと考えております。